

JAB MS101 「航空宇宙品質マネジメントシステム認証機関に対する認定の基準」  
制定原案の公開について

本協会は、この度、標記文書の制定に当たり、原案を公開し、ご意見を募集いたします。これに関するご意見等につきましては、2007 年 4 月 19 日(木)17:30 必着にて添付の様式により下記ご意見送付先 E メールアドレス宛にお送り下さるようお願いいたします。いただきましたご意見等につきましては、最終案の作成において参考にさせていただきます。原則として、住所、電話番号、FAX 番号及び E メールアドレスを除きすべて公開されますことをあらかじめご承知おきください。また、匿名でのご意見は受付いたしかねますのでご了承ください。

なお、JAB MS101 制定原案の準拠規格である SJAC9010C 及び SJAC9011B の技術的内容は変更できませんので予めご承知おきください。(1.1.2 及び 4.1 参照)

本手順の制定の背景・理由、JAB R101-2005 からの変更内容及び制定版の適用予定は次のとおりです。

1. 制定の経緯

1.1 制定の背景・理由

1.1.1 IAQG 規格の制定

- a) AS/EN/SJAC9014-2 「Requirement for Oversight Aerospace Quality Management System Registration / Certification Programs」
- b) AS/EN/SJAC9014-3 「Requirement for Aerospace Auditor Authentication」

1.1.2 JAQG 規格の改定

- a) SJAC9010C 「JIS Q 9100 品質マネジメントシステム認定・審査登録に対する要求事項」
- b) SJAC9011B 「航空宇宙審査員研修コースの開発、実施及び管理に関する要求事項」

1.1.3 ISO/IEC 17021 の制定、その他

ISO/IEC 17021 への移行に伴う条項構成の見直し、及び ISO/IEC 17021 制定の趣旨並びにこれまでの認定経験による規定内容の改善、明確化

1.2 原案公開の承認

2007年3月13日、「第6回マネジメントシステム技術委員会(委員長 中條武志 中央大学教授)」において、この JAB MS101-2007 原案に対するご意見(パブリックコメント)を募集するために、当該原案を公開することが承認されました。

## 2. JAB R101-2005 からの主な変更内容

### 2.1 新たに追加した規定 (括弧内は MS101 中の対象項番)

- a) 用語及び定義に係る全般説明及び次の用語及び定義 (3.)
  - ・ APAQG-RMC (3.9)
  - ・ 研修提供者 (3.12)
  - ・ 研修提供者承認機関 (3.13)
- b) 他の IAQG セクター承認審査員の使用 (9.1.2 a、b)  
解説：差分研修による他セクター審査員の使用 (SJAC9010C 改定)
- c) チームリーダーの要件 (9.1.2 c)  
解説：チームリーダーの要件に航空宇宙産業経験審査員であることの要件を追加 (SJAC9010C 改定)
- d) 認証機関の次の権利と義務
  - ・ JRMC 会議への参加 (11.b)
  - ・ JRMC 単独審査、又は JAB-JRMC 合同審査の受け入れ (11.d)解説：権利義務事項の追加 (SJAC9010C 改定)
- e) 航空宇宙産業経験審査員の力量基準 (経験知識 QMS 要素の追加) (附属書 A2.1)  
解説：力量基準の拡大 (SJAC9010C 改定)
  - ・ 製造及びサービス提供の管理 (A2.1 t)
  - ・ 航空宇宙材料/部品の状態に関する管理 (A2.1 u)
  - ・ 治工具管理 (A2.1 v)
  - ・ 製品認証適格性プロセス (A2.1 w)
  - ・ 供給元調達先承認認定プロセス (A2.1 x)
- f) 航空宇宙産業経験審査員の資格基準 (直近 15 年以内 2 年の実務経験 + 専門コース+ 検証審査) (附属書 A2.2)  
解説：力量基準の国際整合化 (SJAC9010C 改定)

### 2.2 削除又は変更した規定 (括弧内は R101-2005 中の対象項番)

- a) 研修コース合格修了の記録の保管 (2.1.4 b)  
解説：当然事項の削除 (SJAC9010C 改定)
- b) 初回、サーベイランス及び更新審査の結果の SJAC 提出と確認受け  
解説：JRMC との合同審査の実施開始に伴い審査結果 (審査報告書) の提出と確認受けを廃止 (SJAC9010C 改定)

### 2.3 規定内容の改善、明確化 (括弧内は MS101 中の対象項番)

- a) 章構成及び使用用語を MS100(ISO/IEC17021)に整合
  - ※ 構成対比表参照
- b) 序文の新設

- 解説：MS101 と航空宇宙セクター規格の関係を説明
- c) 用語及び定義に関する項順の並べ替え (3.)  
解説：機能別に整理して理解の容易化
- d) 審査員力量基準に係る内容を本文から附属書へ展開 (7.2.1、附属書 A)  
解説：力量基準の多様化に伴う本文記述の複雑化防止
- e) 認証機関の権利・義務に係る内容の編入 (11.)  
解説：認定手順の体系変更 (MS200 への一元化) に伴う R/CP201 の廃止

### 3. 適用日等

本基準の正式発行時期につきましては、本協会技術委員会の承認が得られることが条件となりますので、別途改めて公表いたします。

正式発行後、2007年5月22日(予定)から、JAB MS101-2007を適用した認定審査が可能となります。

また、別途、制定する JAB MS100-2007(ISO/IEC 17021)への移行審査開始以降における航空宇宙品質マネジメントシステムに係る認定審査は、MS101-2007を適用して行うこととなります。ただし、JAB MS101-2007 9.1.2 c) 「審査チームリーダーは、航空宇宙産業経験審査員でなければならない。」の適用期限は、2009年9月14日を予定しております。

### 4. 参考事項

#### 4.1 SJAC9010C Draft 及び SJAC9011B Draft に対するパブリックコメント募集

現在、日本航空宇宙工業会 航空宇宙品質センター (JAQG) が、2007年4月6日(金)まで、JAB MS101-2007の準拠規格である SJAC9010C Draft 及び SJAC9011B Draft のパブリックコメントを募集しております。

<http://www.sjac.or.jp/jaqq/>

JAB MS101-2007では、SJAC9010C 及び SJAC9011Bの技術的内容を変更することができませんので、当該規格の技術的内容に関するご意見は日本航空宇宙工業会にご提出下さい。

また、上記パブリックコメントを受けて SJAC9010C 及び SJAC9011Bの技術的内容が変更された場合は、JAB MS101-2007の技術的内容も変更になりますので予めご承知おきください。

#### 4.2 航空宇宙 QMS 認定・認証スキーム説明会

本協会では、日本航空宇宙センター(JAQG)との共催により航空宇宙 QMS 認定・認証スキーム説明会の開催を予定しております。なお、本説明会は、航空宇宙審査員

研修を兼ねておりますので関係者の参加をお待ちしております。

日時：2007年5月10日 10:30～17:00

場所：JAB 会議室 A/B

対象：既認定又は認定申請を予定している航空宇宙に係るマネジメントシステム認証機関又は航空宇宙審査員に係る要員認証機関  
航空宇宙に係る審査員研修を提供又は提供を予定している審査員研修機関

#### 記

ご意見募集対象文書：

JAB MS101-2007 「航空宇宙品質マネジメントシステム認証機関に対する認定の基準」  
(Draft 2)

(JAB R101-2005 からの主な追加・変更箇所をハイライト表示)

参考文書：

MS101-2007(D2)と R101・R/CP201-2005 の構成対比表

ご意見記入用様式：

JAB AF73 「コメント様式」

ご意見送付先：

財団法人 日本適合性認定協会 システム認定部(技術グループ)

E-mail: MS101-2007@jab.or.jp

以上